

平成 28 年度海外短期研修(春期)募集要項

研修名	募集定員	研修先	研修期間	研修実施機関
1. アメリカ 春期英語研修	15 (最小催行人数 10 名)	カリフォルニア大学 サンディエゴ校	4 週間	University of California San Diego, Extension
2. カナダ 春期英語研修	15 (最小催行人数 10 名)	ヨーク大学	4 週間	York University English Language Institute
3. マレーシア 春期英語研修	10 (最小催行人数 7 名)	マラヤ大学	4 週間	University of Malaya Centre for Continuing Education
4. 春期中国語研修	10 (最小催行人数 6 名)	国立台湾師範大学	3 週間	国立台湾師範大学 国語教学センター

応募にかかる手続き

【応募資格】

- 本学学部又は大学院の正規課程に在学する学生(休学者を除く)であること。
- 次年度前期に本学に在籍予定であること。
- 語学力を高めるという目的意識を持ち、積極的にプログラムに参加する意志があること。
- アメリカ春期英語研修応募者は、応募時に中級レベル(IELTS 5.0、TOEFL-iBT60、TOEIC 600、英検 2 級等)程度の英語力を保持すること。

【海外短期研修(春期)説明会】

10 月 18 日(火) 12:10-12:50 場所: 南大沢キャンパス 国際交流会館 大会議室

各研修の概要、応募手続き及び応募書類の作成方法等について説明を行います。(事前申込不要。但し、入場の際は学生証を提示のこと。)

【海外短期研修報告会】

10 月 25 日(火) 12:10-12:50 場所: 南大沢キャンパス 国際交流会館 大会議室

昨年度アメリカ、カナダ、マレーシア、台湾で海外短期研修を体験した学生が、授業や現地の様子、現地学生との交流の様子、自由時間の過ごし方等を、写真で紹介しながら報告します。また報告会終了後は、前年度派遣学生に研修の様子を直接質問することも出来ます。(事前申込不要。但し、入場の際は学生証を提示のこと。)

【募集期間】※エントリーメール・応募書類受付

10 月 19 日(水)～11 月 8 日(火) 正午まで

【応募書類提出先及び受付時間】

国際課(南大沢キャンパス)／オフィスアワー: 月～金 9:00-17:45 (12:30-13:30 を除く)

※日野・荒川キャンパス所属の学生は、各キャンパス学務課教務係窓口で提出することもできる。

【応募書類】

- 参加申込書【様式 1】：写真（4x3cm）添付（裏面に氏名を記入のこと）
- 志望理由書（兼・研修計画書）【様式 2】：志望動機及び研修計画を述べること。（800～1000 字以内）
- 時間割表（平成 28 年度後期）【様式 3】
- 同意書【様式 4】
- 受験票【様式 5】
- 成績通知書：在学生（学部・大学院）は、所属する課程（学部・博士前期・博士後期）の平成 28 年度前期までの全ての成績を含むこと。「CAMPUS SQUARE for WEB」の「成績通知書照会」を確認し、印刷の上、提出すること。
- パスポート（コピー）※パスポート未取得又はパスポートの残存期間が不足する場合は、派遣決定次第、各自でパスポートを申請または更新の上、コピーを提出すること。特にアメリカ春期英語研修参加にあたっては、別途ビザを取得する必要があるため、至急手続きを行うこと。
- 学生証（コピー）
- 健康診断証明書（本学医務室発行のもの（無料）。発行は申請受付の翌日以降になるため、余裕をもって申請すること。）
- 語学能力証明書（コピー）：アメリカ春期英語研修応募者は、過去 2 年以内に受験した英語能力試験（IELTS、TOEFL-iBT、TOEIC、英検等）を提出すること（※中級レベル程度の英語力を証明する書類を保持しない場合は、応募不可）。なお、アメリカ春期英語研修以外の英語研修応募者も、証明書を有する場合は提出すること。また、春期中国語研修応募者で中国語検定試験等の結果を保持する場合は提出すること。
- エントリーメール

※以下の情報を、10 月 19 日（水）以降、かつ応募書類提出前に PC メールアドレス から送信すること。
※海外短期研修にかかる連絡は、エントリーされた PC メールアドレスに送ります。

送信先：<shortdoc@jmj.tmu.ac.jp>

メール件名：海外短期研修（春期）応募及び漢字氏名（例：海外短期研修（春期）、首都太郎）

メール本文：①学修番号 ②所属 ③学年 ④ローマ字氏名（名前、苗字の順でパスポートと同じ綴り）

⑤漢字氏名 ⑥首都大学東京（XXX-XXX@ed.tmu.ac.jp）又は PC メールアドレス

⑦携帯電話番号 ⑧携帯メールアドレス

（例：①15123456 ②都市教養学部人文・社会 ③1 年 ④TARO SHUTO ⑤首都太郎

⑥shuto-taro@ed.tmu.ac.jp ⑦080-1234-5678 ⑧shutotaro@ezweb.co.jp

【応募書類作成及び提出にかかる注意】

- 海外短期研修（春期）において参加を希望する研修が複数ある場合は、併願することができる。併願を希望する場合は、平成 28 年度海外短期研修（春期）申込書の応募研修の欄に 1～4 の希望順位を記入すること。但し、アメリカ春期英語研修を希望する場合は、中級レベル（前述）程度の英語力を保持しない場合は併願できない。
- 全ての提出書類は手書きの上、黒色のボールペン又は耐水性ペンで記入すること。
- 様式 1～5 は国際センター・国際課ホームページの、海外短期研修 募集スケジュール のページからダウンロードすること。< http://www.ic.tmu.ac.jp/study_overseas/st_schedule.html >
- 全ての提出書類は、各自コピー 1 部を控えとして保管すること。

【受験番号の通知】

南大沢キャンパス国際課窓口にて応募書類を提出した学生には受験票【様式 5】に受験番号を記載します。
日野・荒川キャンパス学務課教務係窓口にて応募書類を提出した学生には、11 月 9 日（水）午後 5 時まで
 に、電子メール(エントリーメールの送信元の PC メールアドレス宛)にて受験番号を通知します。期限までに
 受験番号通知が届かない場合は、< shortdoc@jmj.tmu.ac.jp > に問い合わせること。

【派遣学生の決定】

応募者数が各研修の募集定員を超えた場合は、抽選の上、派遣学生を決定する。

【派遣学生発表】 11 月 10 日（木）正午

国際センター・国際課ホームページへの掲載（新着情報のご案内 <<http://www.ic.tmu.ac.jp/index.html>>）及
 び国際課前（南大沢キャンパス国際交流会館 1 階）にて掲示により発表する。

（アメリカ春期英語研修に派遣が決定した学生は、11 月 14 日（月）12:10 - 12:50 に実施する

第 1 回ビザ説明会に出席のこと。（会場：南大沢キャンパス 国際交流会館 中会議室）

【帰国後に提出する書類】※詳細については、第 3 回オリエンテーションで説明する。

- 海外短期研修報告書
- アンケート

【海外短期研修経済支援金】※給付型（返済の義務はありません）

派遣学生は、1. 経済支援金受給に必要な口座登録、2. 全てのオリエンテーション等への出席、3. 研修開始前及
 び研修終了後の語学能力測定試験の受験（春期中国語研修は除く）及び4. 大学が求める海外短期研修報告書及
 びアンケートを提出することにより、海外短期研修経済支援金を受給することができる。支援金額は、以下の通り研
 修によって異なる。

海外短期研修（春期）経済支援金一覧

プログラム	支援金額
アメリカ春期英語研修	100,000 円
カナダ春期英語研修	80,000 円
マレーシア春期英語研修	60,000 円
春期中国語研修	50,000 円

【派遣学生決定後の予定】

日 時	内 容	場 所
11 月 14 日（月）12:10 - 12:50	アメリカ春期英語研修派遣学生対象ビザ説明会	国際交流会館 中会議室
11 月 15 日（火）～18 日（金） 12:10 - 12:50	第 1 回オリエンテーション（研修先大学申込 及び旅行社に係る手続について）	国際交流会館 中会議室
11 月 16 日（水）・17 日（木） 6 限目	留学生危機管理サービス OSSMA 説明会	国際交流会館 中会議室
11 月下旬	OSSMA & 研修申込金振込期限	JEA、旅行社
12 月 8 日（木）6 限目	CASEC※研修開始前英語能力測定試験	南大沢キャンパス 1 号館 330、340（予定）
12 月下旬 ～ 1 月初旬	研修費用残金振込	旅行社
1 月 17 日（火）～19 日（木） 12:10 - 12:50	第 2 回オリエンテーション	国際交流会館（予定）

2月16日(木)・17日(金)	第3回オリエンテーション (出発直前にかかる説明及び危機管理について)	国際交流会館 中会議室
2月～3月 海外短期研修		
4月中旬	CASEC 研修終了後英語能力測定試験	南大沢キャンパス 1号館
	海外短期研修報告書・アンケート提出	Kibaco
4月下旬	フィードバックミーティング	南大沢キャンパス(会場未定)
研修終了後	海外短期研修経済支援金 支給	銀行振込

※CASEC <<http://casec.evidus.com/>>

【応募に当たっての注意】

- ① 研修費用は、派遣学生数が募集定員から増減する場合や為替レートの変動等により変更になる場合がある。
- ② 応募者は、平成28年度海外短期研修(春期)への応募にあたり保証人の同意を得ること。申込時に未成年の場合、保証人は保護者とする。
- ③ 応募資格を満たしているかの確認が必要な場合は、海外留学相談室または国際課で事前に相談すること。
- ④ 派遣学生に決定後は、理由の如何にかかわらず辞退することはできない。
- ⑤ 研修先が所在する国の治安・状況によっては、大学が研修の中止、または研修中であっても途中帰国を決定する場合がある。これらの事態等が生じる事を理解し万一の際は大学の決定および指示に従うこと。
- ⑥ 派遣学生は、病気・事故・事件等の万一の場合に備え、本学の指定する補償内容(治療・救済者費用 1億円以上のプラン)の海外旅行保険、および日本エマージェンシーアシスタンス(株)の運営する海外安全危機管理サービス(OSSMA: Overseas Students Safety Management Assistance)に加入することが義務付けられる。また上記の海外旅行保険が、研修先の指定する補償証要件を満たさない場合は、併せて研修先が指定する保険にも加入することが義務付けられる(アメリカ春期英語研修)。
- ⑦ 派遣学生は、全てのオリエンテーション等への出席、研修開始前および研修終了後に実施する語学試験(春期中国語研修は除く)を受験することが義務付けられる。
- ⑧ 応募者多数の場合、以下に該当しない学生が抽選に於いて優先される。
 - 国費外国人留学生
 - 東京都アジア人材育成基金および東京都都市外交人材育成基金により受け入れられた外国人留学生
 - 過去に本学が実施した海外短期研修(春期・夏期)に参加した学生
- ⑨ 海外短期研修(春期)は併願(第1希望～第4希望まで選択可)することができる。但し、アメリカ春期英語研修に併願する場合は、中級レベル程度の英語力(【**応募資格**】の項参照)を保持しない場合は併願できない。

【問合せ先】

国際課(南大沢キャンパス) 担当: 矢口・安
Email: shortdoc@mj.tmu.ac.jp
月～金 9:00-17:45(12:30-13:30を除く)

アメリカ春期英語研修 (カリフォルニア大学サンディエゴ校 (UCSD) : カリフォルニア州サンディエゴ)

【研修の目的】本研修は、英語によるアカデミックスキル能力を高め、グローバルな視野とグローバル社会への適応力を養うことを目的としたプログラムである。

【研修の概要】

- カリフォルニア大学サンディエゴ校の附属専門教育機関であるエクステンションで、海外から参加する多様な国籍の学生と共に UCSD が提供する 4 週間の Academic English コース及び各自の英語レベルに合わせ、特定のスキルアップを目指すための 6 つのコース（予定： 1. Listening and discussion 2. Research paper writing 3. Oral presentations 4. Pronunciation and fluency 5. Vocabulary development 6. TOEFL iBT preparation）から希望する 2 コースを選択し受講する。（計週 20 時間）
＜注意＞研修初日に実施されるプレースメントテストの結果により、Academic English コース受講に必要な英語能力に満たないと判断された場合は、Conversation and Fluency コースを受講することになる。
- 希望者は研修先主催のアクティビティに参加することができる（一部有料）。
- 広大で緑豊かなキャンパスに集う世界各国の学生との交流を通し、グローバルな視野を広めると同時に、アメリカ文化への理解を深めることを目指す。

【期待する研修の効果】

アカデミック英語の学習を目的とし、また特定のスキルアップを図り、英語運用能力の更なる向上や、将来的に中・長期の留学に必要な語学能力を習得することを期待する。

【研修実施機関】

University of California, San Diego Extension <<http://extension.ucsd.edu/Department/ELP/>>

【研修期間】平成 29 年 2 月 27 日（月）～3 月 24 日（金）

【旅程（29 日間）】 出発： 平成 29 年 2 月 26 日（日）東京・成田国際空港発
帰国： 平成 29 年 3 月 25 日（土）アメリカ・サンディエゴ国際空港発
平成 29 年 3 月 26 日（日）東京・成田国際空港着

【宿泊施設】アパートメント（4 名 1 部屋（ツインルーム×2、バスルーム×2）キッチン・リビング共有）
Anatolia Corporate Housing <<http://ac-housing.com/>>

【参加費用】 約 510,000 円

- 研修費用 約 350,000 円（TTS レート US\$1=¥104.28 平成 28 年 9 月 2 日付）
（Academic English \$1,910、UCSD Medical Insurance \$180、その他\$140、宿舎費用 \$1,125）
- 旅行費用 約 140,000 円（燃油サーチャージ、空港税等含む。平成 28 年 9 月現在）
- 海外安全危機管理サービス(OSSMA) 個人会費 3,240 円（1 ヶ月）
- 海外旅行保険 参考 13,620 円（OSSMA セット型留学保険 B タイプ）

＜＜その他（研修費用に含まれない）＞＞

- 教材費：現地で購入（\$150 - \$175 程度）
- F-1 ビザ申請料実費（申請料\$160、SEVIS 費用\$200）（平成 28 年 8 月現在）

カナダ春期英語研修 (ヨーク大学：トロント)

【研修の目的】本研修は、英語によるコミュニケーション能力を磨き、グローバルな視野とグローバル社会への適応力を養うことを目的としたプログラムである。

【研修の概要】

- ヨーク大学付属英語学校では、各自の英語力に応じてレベル分け（7段階）された4週間（週20時間）のアカデミックプログラムを海外から参加する様々な国籍の大学生と共に受講し英語能力を高める。レベル4以上の学生は、ヨーク大学が提供する正規授業の聴講も可能である。
- ヨーク大学現役学生とのカンパセーション・パートナー・セッションを通して、授業で学習した英語の実践を行う。
- 英語コースに加え、課外活動として様々なアクティビティに参加し、カナダの文化、社会への理解を深め、グローバルな視野を広めることを目指す。

【期待する研修の効果】

レベルにより学習目標（レベル1-3：英語学習の基礎となる4技能の向上。レベル4-6：大学入学準備講座）が設定されており、週20時間の集中的な英語クラスを通し英語運用能力の更なる向上や、将来的に中・長期の留学に必要な語学能力を習得することを期待する。

【研修実施機関】

ヨーク大学付属英語学校 (York University English Language Institute (YUELI))

<<http://yueli.yorku.ca/about/>>

【研修期間】平成29年2月27日（月）～3月24日（金）

【旅程（29日間）】

出発： 平成29年2月26日（日）東京・羽田空港発
帰国： 平成29年3月25日（土）カナダ・トロント空港発
平成29年3月26日（日）東京・羽田空港着

【宿泊施設】学生寮（ヨーク大学キャンパス内・シングルルーム）

【参加費用】 約399,000円

- 研修費用 約277,000円（TTSレート CA\$1=80.43円 平成28年9月2日付）
（授業料 CA\$1,700、宿舎 CA\$940、Activities CA\$200、ミールプラン CA\$350、その他 CA\$250）
- 旅行費用 約105,000円（（燃油サーチャージ、空港税等含む。平成28年9月現在）
- 海外安全危機管理サービス(OSSMA) 個人会費 3,240円（1ヶ月）
- 海外旅行保険 参考13,620円（OSSMA セット型留学保険Bタイプ）

マレーシア春期英語研修 (マラヤ大学：クアラルンプール)

【研修の目的】本研修は、英語によるコミュニケーション能力を磨き、グローバルな視野とグローバル社会への適応力を養うことを目的としたプログラムである。

【研修の概要】

- 本学協定大学のマラヤ大学付属のマラヤ大学生涯教育センターで、プレースメントテストによって各自の英語力に応じてレベル分け（4段階）された4週間の English Language Proficiency Programmes (ELPP)を、主に中東各国から参加する学生と共に受講し、英語能力を高める。
- 英語コースに加え、課外活動として週末フィールドトリップ及びホームステイ（1泊2日）を通して多民族国家であるマレーシアの文化、社会への理解を深め、グローバルな視野を広めることを目指す。

【期待する研修の効果】

週26時間の集中的な英語クラスを通し英語運用能力の更なる向上、IELTS 試験対策、将来的に中・長期の留学に必要な語学能力を習得することを期待する。

【研修実施機関】

マラヤ大学生涯教育センター (University of Malaya Centre for Continuing Education (UMCCed))

<<http://umcced.edu.my/>>

【研修期間】平成29年2月27日（月）～3月24日（金）

【旅程（29日間）】

出発：平成29年2月26日（日）東京・成田国際空港発

帰国：平成29年3月25日（土）クアラルンプール空港発

平成29年3月26日（日）東京・成田国際空港着

【宿泊施設】International House（マラヤ大学が提供する学生寮・ツインルーム）

およびホストファミリー（ホームステイ期間）

【参加費用】 約270,000円

- 研修費用 約153,000円（TTSレート US\$1=¥104.28 平成28年9月2日付）
（授業料、教材費他 US\$710 宿舍 US\$238、その他（空港送迎、フィールドトリップ他）US\$514）
- 旅行費用 約100,000円（燃油サーチャージ、空港税等含む。平成28年9月現在）
- 海外安全危機管理サービス(OSSMA) 個人会費 3,240円（1ヶ月）
- 海外旅行保険 参考13,620円（OSSMA セット型留学保険Bタイプ）

春期中国語研修 (国立台湾師範大学：台北)

【研修の目的】本研修は、言語と文化を結びつけたプログラムを通し、中国語及び中華文化を学びその理解を深め、グローバルな視野とグローバル社会への適応力を養うことを目的としたプログラムである。

【研修の概要】

- 本学協定校の国立台湾師範大学付属の国語教学センターでは、クラス分けテストの結果に応じてクラス編成（初級・中級・上級）を行い、少人数クラスで3週間（週15時間）の中国語授業を受講する。中国語学習未経験者も受講することができ、また中国語学習歴を持つ学生は、個人の必要に応じてさらに中国語力を高めることを目的とする。
- 中国語授業に加え、文化授業及び校外授業の中から、それぞれ希望する3種類を選択し参加することにより中華文化への知識をより一層深める。

【期待する研修の効果】

授業では、実用的語彙、文型構造と発音練習を重点的にを行い、「聞く・読む・話す」能力の強化をはかり、短期間ではあるが密度の濃い実用的な中国語を学習する。授業で学んだ言語を日常生活で使用しながら、学習に刺激を与え実践的な中国語の習得を期待する。

【研修実施機関】

国立台湾師範大学国語教学センター (National Taiwan Normal University Mandarin Training Center)

< <http://mtc.ntnu.edu.tw/mtcweb/index.php?lang=jp> >

【研修期間】平成29年3月1日（水）～3月17日（金）

【旅程（19日間）】 出発： 平成29年2月28日（火）東京・羽田空港発
帰国： 平成29年3月18日（土）台湾・台北（松山）空港発
東京・羽田空港着

【宿泊施設】進修推廣学院（師大会館）2～3人部屋

【参加費用】 約230,000円

- 研修費用 約146,000円（TTSレート US\$1=¥104.28、NT\$1=¥3.26 平成28年9月2日付）
（学費 US\$1,000.00、宿舎 NT\$12,750）
- 旅行費用 約63,000円（燃油サーチャージ、空港税等含む。平成28年9月現在）
- 海外安全危機管理サービス(OSSMA) 個人会費 3,240円（1ヶ月）
- 海外旅行保険 参考9,850円（OSSMAセット型留学保険Bタイプ）

写真
(4cm×3cm)

(4cm×3cm)

※日野・荒川キャンパス所属の学生は、各キャンパス学務課教務係窓口で提出することもできる。

[illegible]

平成 28 年度海外短期研修（春期） 志望理由書（兼・研修計画書）【様式 2】

学修番号 _____ 氏名 (自署) _____

 $1/2$

(800 字～1000 字以内)

[illegible]

500

※横書き原稿用紙の書き方に則って、ボールペン又は耐水性ペンを使用し手書きすること。

学修番号 _____ 氏名（自署） _____

[illegible]

800

1000

※横書き原稿用紙の書き方に則って、ボールペン又は耐水性ペンを使用し手書きすること。

授業時間割表

【平成 28 年度後期】

学修番号：_____ 氏名：_____

時限／曜日	月	火	水	木	金
1 時限 (8:50-10:20)					
号 (棟) - 教室					
2 時限 (10:30-12:00)					
号 (棟) - 教室					
3 時限 (13:00-14:30)					
号 (棟) - 教室					
4 時限 (14:40-16:10)					
号 (棟) - 教室					
5 時限 (16:20-17:50)					
号 (棟) - 教室					
6 時限 (18:00-19:30)					
号 (棟) - 教室					

同 意 書

首都大学東京 学長 殿

私は、以下の事項 A～C について内容を十分に理解し、同意した上で、海外短期研修に応募いたします。

同意年月日 平成 年 月 日

学修番号 _____ 学生署名 _____

保証人は、本同意書に同意し、学生本人が同意事項を遵守することを保証いたします。

保証人署名 _____ (学生との関係： _____)

<事項 A：参加申込書提出時に承諾が必要な事項>

1. 参加申込者本人ならびに保証人共に募集要項を熟読し理解した上で参加申込を行うこと。
2. 派遣学生の決定は、本学が定める方法により、本学が決定すること。
3. 派遣学生に決定後は、理由の如何にかかわらず辞退できないこと。
4. 海外短期研修に係る費用について十分理解し、保証人等の経済的負担者の了解を事前に得た上で参加申込を行うこと。また、研修に係る費用は定められた期日までに支払うこと。
5. 出発日から帰国日までを保険期間とする**本学が指定する補償内容（治療・救援費用 1 億円以上のプラン）の海外旅行保険**、及び日本エマージェンシーアシスタンス株式会社の運営する「留学生危機管理サービス（OSSMA）」に加入すること。また、上記の海外旅行保険が、研修先の指定する補償要件を満たさない場合は、併せて研修先が指定する保険にも加入すること（アメリカ春期英語研修）。
6. 語学試験や研修先での成績情報を、本学が、試験実施機関や研修先等から取得することに同意すること。
7. 海外短期研修に係る旅行手配、研修参加費用の請求、その他事務手続きについて、本学が指定する旅行代理店（以下、代理店という。）が行うこと。
8. 個人情報について、研修実施及び緊急時の対応に必要な範囲内で、本学が研修先、代理店、宿泊先、運送機関、在外公館、旅行保険会社、危機管理支援サービス会社へ提供すること。
9. 研修運営・広報・危機管理等の情報共有のため、研修中の学習や生活情報を本学へ提供し、報告書、報告会およびホームページ等において自身の体験を伝える等の協力をする。

<事項 B：派遣決定後から派遣までに特に留意すべきこと>

1. 出発前から十分な健康管理を行い、既往症等がある場合は、医師の判断に従うこと。
2. 海外短期研修派遣にあたり出席が義務付けられているオリエンテーションに、全て出席すること。なお、オリエンテーションで説明される研修参加に必要な諸手続きについては、自らの責任において行うこと（研修先に提出する各種書類の作成、パスポート及びビザの取得、等）。

<事項 C：渡航後に受ける拘束・従わねばならないルール>

1. 研修中は、本学の学生として責任ある行動をし、研修先での学業に精力的に取り組むこと。
2. 研修中は、滞在国の法令、研修先大学の規則及び本学の諸規則を遵守するとともに、研修先の教員や事務担当者等の指示に従い、滞在国の公序良俗に反することのないように注意すること。
3. 研修先が所在する国の治安・状況によっては、本学が研修の中止又は帰国を決定することがあるので、これらの事態が生じることを理解し、万一の際は本学の指示に従うこと。
4. 研修中は、本学が指定する宿泊先に滞在し、本学のでした承無しに個人行動は行わないこと。
5. 研修中は、いかなる場合も車両（自転車を除く）の運転は行わないこと。
6. 研修終了後は、速やかに帰国して報告書の提出を行い、また本学が求める研修改善のための調査・アンケートに協力すること。
7. 研修終了後、本学が指定する語学試験（春期中国語研修を除く）を受験すること。

上下両方の表の、太枠内を記載し提出すること。

平成 28 年度 海外短期研修（春期）派遣候補者選考受験票										
受験番号 (国際課記入欄)	学部			学科・系			コース			
	研究科			専攻・学域			年次			
	学 修 番 号							氏 名		
【注意】 この受験票は、今年度海外短期研修（春期）派遣候補者選考の結果が発表されるまで大切に保管すること。										



國際課控

平成 28 年度 海外短期研修（春期）派遣候補者選考受験票									
受験番号 (国際課記入欄)	学部		学科・系		J-入				
	研究科		専攻・学域		年次				
	学 修 番 号					氏 名			